

補正予算第1号の2件について、一括して採決いたします。

日程第16、議案第59号及び日程第17、議案第60号の2件について、予算特別委員長の報告は、いずれも原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(挙手全員)

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第59号及び議案第60号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

委員会付託の省略について

○鈴木富美子議長 お諮りいたします。

これから上程いたします議案は、委員会付託を省略し、全員でご審議願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

日程第18 議案第61号 姉妹都市盟約の締結について外2件

○鈴木富美子議長 それでは、日程第18、議案第61号 姉妹都市盟約の締結についてから、日程第20、議案第63号 令和6年度長井市一般会計補正予算第7号の3件を一括議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 おはようございます。提案説明を申し上げます。

議案第61号 姉妹都市盟約の締結についてご説明申し上げます。

本案は、タンザニア連合共和国・ドドマ市と姉妹都市の盟約を締結いたすため、長井市議会基本条例第9条の規定に基づき、ご提案申し上げるものでございます。

続きまして、議案第62号 長井市バイオガス発電設備整備事業設計委託及び建設工事請負契約の締結についてご説明申し上げます。

本案は、9月17日に開催いたしましたプロポーザル審査委員会の結果に基づき、契約金額3億5,640万円をもって、前澤・那須特定建設工事共同企業体と設計委託及び建設工事請負契約を締結するため、長井市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定によりご提案申し上げるものでございます。

議案第63号 令和6年度長井市一般会計補正予算第7号についてご説明申し上げます。

第1条、歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に6,409万7,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ184億2,768万8,000円といたすものでございます。このたびの補正は、歳出におきまして7月の大雨による災害復旧に関連する経費を計上いたすほか、文化的景観保護事業、小・中学校各種大会出場費補助事業に要する経費を追加措置いたすものでございます。歳入につきましては、歳出の財源として分担金、国県支出金、市債などをそれぞれ見込んだほか、不足する財源に財政調整基金繰入金を計上いたすものでございます。

第2条の地方債の補正につきましては、第2表のとおり追加、変更いたすものでございます。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○鈴木富美子議長 提案者の説明が終わりました。

これから順次質疑、討論、採決を行います。

なお、申合せにより委員会付託を省略して全

員による審議の場合、当日提案議案の質疑につきましては、一問一答の方式により行うこととされております。

質疑の時間は、1人当たり答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

まず、日程第18、議案第61号 姉妹都市盟約の締結についての1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

8番、竹田陽一議員。

○8番 竹田陽一議員 おはようございます。共創長井の竹田陽一です。よろしく申し上げます。このたびタンザニアの首都ドドマ市との姉妹都市の盟約の締結について若干、市長にお尋ねをしたいと思っております。

姉妹都市の提携については、国際交流の機会が少なかった時代から現在まで、地域の国際化と住民の国際交流機会の提供に重要な役割を果たしてきたと考えています。現在は誰でも自由に海外に行くことができるし、インターネットで情報なども得ることができる時代です。世界各国の間には人、物、金、情報が絶え間なく交流していますので、自治体が外国と交流する機会が増えていると思います。かつて国際交流手段の少なかった時代より実のある交流ができると考えております。

現在、本市の姉妹都市はドイツのパートゼツキゲン市、友好都市は中国の双鴨山市であります。また、国内では、姉妹都市として結城市と交流をしているところであります。それぞれの縁により交流が始まり、長年続いているという状況であります。このたび、ドドマ市と本市が姉妹都市の盟約締結をきっかけに、両市の関係が深まる交流活動を展開し、両市民の理解促進と友好関係の強化につながることを期待し、2つほどお伺いします。

初めに、姉妹都市提携による両市の利益についてお伺いします。

姉妹都市交流には経費をかけ過ぎない付き合い方を工夫しなければ、長続きはしないと考えています。盟約書（案）では、環境、教育、文化、経済及びスポーツの分野において交流するとしております。姉妹都市提携は、両市のさらなる発展と市民生活の向上に資することにより、両市の市民に多大なる利益をもたらすものと思っております。姉妹都市提携の市長の思いについて、まずお伺いします。

○鈴木富美子議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 国際交流の思いということなんですが、まず昨年度、一昨年度の長井市まちづくり青少年育成市民会議のほうから提唱いただいた少年会議というものを開いていただいております。少年会議のほうではSDGsを一つのテーマとして、これからの長井市のまちづくり、様々な提言っていいですかね、ご意見などをいただきました。その中で昨年、一昨年とも、少年会議、市内の中学生、高校生であります、大部分のテーマに通じるものは、国際交流をぜひ積極的に長井市で行っていただきたいというような、そういった声が寄せられたと思っております。

私ども長井市のほうでは、教育委員会のほうともいろいろ相談しながら、これからの次の世代、またその次の世代、我々の子供や孫の世代にしっかりとこの長井市をバトンタッチするとともに、彼らが将来、様々な場面で数多くの外国の方と一緒に仕事をしたり、あるいは同じ地域で生活したりということがこれ普通になる時代だと。そのときに私どもはどういったことを考えていかなきゃいけないかということで、まず日本ではなかなか円滑に進まなかった、外国語教育、その中で英語によるコミュニケーションを取れるような、そんなことを小・中学生のうちにしっかりと教育委員会、市を挙げて取り組むべきだとして、ALTの全校配置であったり、また、そのALTをコーディネートするA

LTをみたいなことで、ここ約10年来そういったことに力を入れてまいりました。

また、バートゼッキンゲン市とは、竹田議員からもありましたように、昨年で40年ということなんですが、その中で昨年、バートゼッキンゲン市からの提案で、やはりEU諸国の中では陸続きでありますので、ゼッキンゲン市そのものがフランス、イタリア、スイス、オーストリアとの姉妹都市を結んでるということに、我々も姉妹都市の姉妹都市は友達だということで、サマーキャンプということで10名の子供たちが、実際にヨーロッパのほうに出向いて、ドイツにも出向いて、それぞれの姉妹都市の少年少女らと合宿っていいですか、そういった経験もしてきたと。そういった経験は、その後、報告会なんかありましたけども、非常に彼らにとっては若いうちに外国へ行くこと、あるいは外国の人と一緒に共同合宿をしたっていうことは大変な、力になったということで、私どもとしては引き続きこういったことも含めて、我々の先輩たちが行っていただいたバートゼッキンゲン、また、いろんな事情があって友好都市ということではありますが、中国の双鴨山市、こういったところとより一層付き合いを深めていくと同時に、今、今回タンザニア連合共和国のドドマ市との縁も、非常にいろんな関係があってここまで来たんですが、例えば、ちょっと話が長くて恐縮です。できるだけ、あと終わりにしたいと思いますが、ドイツのバートゼッキンゲン市と中国の双鴨山市ともう全く違う付き合い方しなきゃいけないんですね。

タンザニア連合共和国は、ましてや発展途上国でありますので、私の感覚ですと、地方自治っていうのはまだ確立していません。地方の行政運営もなかなか難しいのかなと。したがって、本来であれば、全員協議会で皆様にもいろいろ説明した際に貴重なご意見をいただいたと。その報告も受けておりますが、本来どういうこと

についての交流をするかっていうことを煮詰めなきゃいけないんですが、残念ながら、それを煮詰めるにはもう恐らく二、三年では済まない、5年、10年かかる、そういった事情があるんですね。ですから、私どもはタンザニアの駐日の大使館、それから在タンザニアの日本の大使館、それからJICAさんの全面的なご協力を得て、ドドマ市と姉妹都市になって交流を深めてくれという外務大臣の話は皆さん、ご存じだと思うんですが、私、直接言われました。いや、ちょっと気が重いなと思いました。それは首都ですからね。

しかもタンザニアに、私を含め、平進介議会運営委員長あるいは内容邦彦産業・建設常任委員長、それから議長も、議長は公務じゃなくて私費で行ってこられましたけども、私は、副市長も1回行ってまいりました、JICAのほうの招きで、レディース・ファーストを含めて、私は3回行ってまいったんですが、やはりすごい、これからアフリカの中で恐らく一番伸びる、ベストスリーに入る国です。国民性も我々日本人から見て非常に親しみやすい、しかもアフリカの、国民性っていいですかね、温かい国ですから、我々とちょっと違うんですが、その中でも誠実で優しい国民性だなということから、こないだJICAの方からも聞いたんですが、例えば日本の大手の旅行会社のほうでタンザニアの国民は素晴らしいと。ぜひタンザニアの優秀な人を、その旅行会社でも、あるいはホテルで雇用するっていうのは極めて日本、人口、雇用するための人材不足なので、ぜひそういったことも検討しろと言われてたぐらい、誰から見ても優れていると。

したがって、今回は、私どもとしてはもう少し詰めたかったんですが、その外務大臣からTICADというのは、2019年だったと思うんですが、そのときに言われて、今日まで何回も連絡取るんですが、返ってこない。また、いろん

なことを、大使館あるいはJICAを通じていろいろ言っていたいたんですが、もう細部を煮詰めるなんていうことは我々の感覚とは全く違うと。これは、例えばドイツも我々の日本の地方自治体とドイツの地方自治体、またちょっと違うんですね、仕組みが違います。あと中国については、もう我々では理解できないんです。やっぱり一党独裁国家ですから、我々からいけば専制主義国家に近いんじゃないかと、そういう国の中での地方自治体の権限っていうのはよく分からないんですね。したがって、そういう国々も含めて、やっぱり我々日本の常識では考えられないこともあるんだということを含めて、やっぱり国際交流を考えていく必要があると考えておまして、大変、皆様のご納得いくような形での締結には至らなかったかもしれませんが、ぜひ今の時代は何とかまずは締結して、その中で、交流する中でいろんなことを詰めていくということは大事であり、それが次世代に対する我々の責任であろうと考えておますので、ぜひ国際交流についていろいろご提案をいただきながら、共によい交流できるように頑張りたいと思いますので、よろしく願い賜りたいと思います。

長くなって申し訳ありません。

○鈴木富美子議長 8番、竹田陽一議員。

○8番 竹田陽一議員 やっぱり国柄もあって、物事を進めるにはなかなか難しいこともあるなということ、今、分かりました。締結後、これから親善事業やっていくわけですが、今のところ、どういうふうな事業を、相手もあることなのであれなんです、市長としてはどういう事業を一応考えておられるとか。青少年交流とか市民団の訪問とか受入れとか、いろいろ今までもあるわけですが、そういうもの何か考えてるところもあれば、ちょっと教えていただきたいと思います。

○鈴木富美子議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 現段階での私の全くの私案でありますけれども、まずは今も行っております国のデジ田の交付金等々を活用させていただいて、長井マラソンへのご招待、あわせて、これから少しそれにプラスして、何人か選手以外の人たちもまずは数名程度お招きするというのをやっていきたいと。

あと私どものほうでは、なかなか向こうに行くにも大変なんです、私どものほうから行く場合は、私ども行政のほうは少数のできるだけ限られた人数、これは一財に当たると思っています。ただ、市民訪問団っていうのは2回ほど参りましたけども、そういったことも引き続き行きたいと。それと同時に、夏休み等々を利用した短期の5日から1週間ぐらい程度の、向こうへ私どもが派遣すると、子供たちを。それから、向こうから逆に何人か来ていただくということなども考えたいと思っていますが、こちらについてはやはり経費の問題がございますので、私どもといたしましては、以前、心のまちづくり基金のほうの審査委員会の委員長のほうに、まずは私ども今なかなか財源的には決して潤沢ではございませんので、ただし、国際交流っていうのは非常に重要なことなので、そのまちづくり基金の原資っていうのはそんなに減っておりませんので、それを一部お借りしながら、それで子供たちの交流を図って、できるだけ多くの子供たちの交流が続かないと駄目だと思いますので、それと同時に、ある程度向こうからも何人かということなども検討したいと。それらを一時お借りして、その後、財政が改善されたときに、基金をお返すような形でご協力いただきたいということはお願いしております。ただ、これ、どうなるか、また改めてお願いすることになると思います。

そういったことを皮切りに、あともう一つ、私どもとして今やろうとしていることは、例えば長井工業高校のほうで、定員が非常に割れてま

して、いろんな教育の施設、旋盤であったり、いろんな電子部品だとか、そういったところも物がまだまだ使われてないと。したがって、タンザニアの、先ほどお話ししたように、国民性は非常に真面目なので、きちんと教えれば、私どもの製造業のパートナーとなるんじゃないかと。タンザニアは、ほとんど製造業はまだ、何せ農業と、それから漁業もあんまりないですし、何でしょうか、観光でしょうかね、観光客はやっぱりキリマンジャロをはじめ大変、自然公園のすばらしい公園があるところですから、それで成り立ってるんですが、毎年GDPが4%、5%上がってるんだそうです。日本でいう高度経済成長なんで、いよいよやっぱり製造業とかそういったところに、食品なども全部インドの商人に、コーヒー豆なんかはもう全部独占されてるとか、いろんな事情があるんですが、そういったところを私ども、JICAを通じて、長井工業高校に短期留学みたいな、そういったことのお手伝いができるんじゃないかと。そうしますと、そういった人材がある程度続くと、今度、私どもの市内の企業とタンザニアのそういう人材に、例えば就業してもらうとか、あるいは向こうに、ほかの大企業なんかと一緒に立地して、アフリカの製造拠点にするようなことなどの方向性を、将来の目標としてはできるんじゃないかなと考えているところでございます。

ちょっと長くなりました。申し訳ありません。

○鈴木富美子議長 8番、竹田陽一議員。

○8番 竹田陽一議員 先ほど姉妹都市のドドマ市を友人にというような話があったわけですが、外国にまた親しい友人がいれば、なかなか心強いなという感じがします。最近、世界では内戦とかが頻発してます。それも文化とか宗教の違いとか、あとは領土の問題とか、いろいろ出てるわけですが、やっぱり相互に理解を深めたり、信頼を深めると、そういうことも外交的には、それがよりうまく進むのではないかなと

私は思ってます。今後もそういうふうなことが、世界平和なんてちょっと大げさなんですけど、そういうものにも貢献するような交流でありますので、ぜひしっかりと進めていただければと思います。申し上げまして質問を終わりにします。ありがとうございます。

○鈴木富美子議長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第61号について討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第61号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第61号は、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第19、議案第62号 長井市バイオガス発電設備整備事業設計委託及び建設工事請負契約の締結についての1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第62号について討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 意見もないので、意見を終結し、採決いたします。

議案第62号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第62号は、原案のとおり決定い

たしました。

次に、日程第20、議案第63号 令和6年度長井市一般会計補正予算第7号の1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

11番、浅野敏明議員。

○11番 浅野敏明議員 11ページの11款2項1目、道路等災害復旧業務委託料660万円について、建設課長にお尋ねします。

さきの全員協議会で内容については説明をいただきましたが、請負工事でなくて業務委託料とした理由についてご説明をお願いしたいと思います。

○鈴木富美子議長 若月由紀建設課長。

○若月由紀建設課長 このたびの7月25日からの大雨による被害につきましては、全員協議会でもご説明申し上げましたけれども、1件当たりの復旧業務が60万円未満ということで見積り等いただいて、既に道路維持の範疇で実施しているところもございます。そういうこともございまして、国のほうの国庫補助を申請しての、災害査定を受けての復旧工事というのは、このたびの補正予算としては計上していない。該当する箇所がないと判断をしているところでございます。工事としてということではなくて業務委託として、維持補修の範疇、維持補修の延長でということで、業務委託として発注したものでございます。

○鈴木富美子議長 11番、浅野敏明議員。

○11番 浅野敏明議員 技術参与にお伺いします。

これまで災害復旧工事で業務委託料、工事に当たる部分も業務委託料ってというのは初めてのケースだと思ったんですが、測量設計が業務委託料で、復旧は請負工事でなかったかと思いますが、今後とも軽微な災害復旧については業務委託料で行うのか、説明をお願いします。

○鈴木富美子議長 青木邦博技術参与。

○青木邦博技術参与 今、課長からもお話ありま

したが、今回の災害というのは、非常に軽微ということもありまして、迅速な対応というのが求められました。例えば樹木が道路に滑ってきたというのは、グレーダーで押せば、それはそれで済むお話でしたので、そういう箇所が非常に多かったということもありまして、維持管理の委託料で発注して今回、災害として組替えをさせていただきたいということでございます。

○鈴木富美子議長 ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議案第63号について討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 意見もないので、意見を終結し、採決いたします。

議案第63号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第63号は、原案のとおり決定いたしました。

日程第21 議案第64号 長井市 教育委員会委員の任命について

○鈴木富美子議長 次に、日程第21、議案第64号 長井市教育委員会委員の任命についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 議案第64号 長井市教育委員会委員の任命についてご説明申し上げます。

本案は、令和6年10月2日をもって任期満了

となる長井市教育委員会委員の後任に、平田史彦を任命いたすため、ご提案申し上げます。よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

○鈴木富美子議長 提案者の説明が終わりました。

本案は人事案件でありますので、質疑、討論は省略し、採決いたします。

議案第64号の1件について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第64号は、原案に同意することに決定いたしました。

日程第22 議案第65号 市政功 労者の表彰について

日程第23 議案第66号 市政功 労者の表彰について

○鈴木富美子議長 次に、日程第22、議案第65号 市政功労者の表彰について及び日程第23、議案第66号 市政功労者の表彰についての2件を一括議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○内谷重治市長 議案第65号及び議案第66号については、いずれも市政功労者の表彰についてでございますので、一括してご説明申し上げます。

議案第65号では、医師として地域住民の健康と福祉の増進に尽力されるとともに、本町・中央まちづくり協議会の会長として、安全で住みよいまちづくり活動を先導するなど、多方面にわたり、本市の発展に貢献された桑島一郎氏を長井市表彰条例第2条第1項第1号の規定に該当する市政功労者として、議案第66号では、野

川土地改良区理事長等の役職を歴任し、地域農業の振興に尽くされ、ひいては本市の農業振興及び産業の発展に貢献された工藤誠一氏を同条例第2条第1項第3号の規定に該当する市政功労者として表彰いたすため、それぞれご提案申し上げます。

なお、このたびの表彰につきましては、長井市表彰審査委員会にお諮りをし、ご賛同をいただいております。

また、議会の同意を賜るべき事項ではございませんが、長井市表彰条例第2条第1項第6号の規定に該当する善行表彰者として、本市の健康・福祉分野の施策や地域活性化等事業などに役立てるため、本市に多額のご寄附をいただいた齋藤壽子氏を表彰申し上げますので、申し添えます。

以上、よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

○鈴木富美子議長 提案者の説明が終わりました。

本案は、いずれも人事案件でありますので、質疑、討論は省略し、順次採決いたします。

まず、議案第65号の1件について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第65号は、原案に同意することに決定いたしました。

次に、議案第66号の1件について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○鈴木富美子議長 起立全員であります。

よって、議案第66号は、原案に同意することに決定いたしました。

最後にお諮りいたします。本定例会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思っておりますが、これにご異議ございませ

んか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鈴木富美子議長 異議なしと認めます。

よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

閉 会

○鈴木富美子議長 これをもって令和6年9月長井市議会定例会を閉会いたします。ご協力、誠にありがとうございました。

午前11時34分 閉会

会議録署名議員

議 長 鈴 木 富美子

4 番 鈴 木 裕

5 番 鈴 木 悟 司

6 番 鈴 木 一 則